

## 質の高い都市計画行政

**従来型の都市計画** ・人口の増加や成長・拡大を前提に、将来の都市像がある程度予測可能な状態の中で土地利用規制や都市施設の整備、市街地整備で都市をコントロール

時代のニーズ

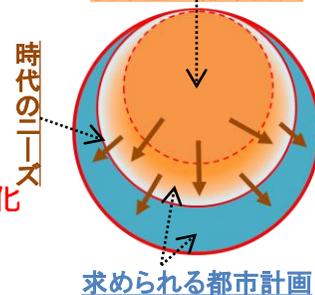
人口を維持、あるいは減少する可能性が大きい中で、**持続可能で安全・安心して暮らせる都市づくり、国際競争力強化に資する都市づくり**  
 これまでの土地利用規制等でのコントロールに加え、都市の住民・企業の活動等にこれまで以上に着目し、量ではなく質の向上を図るために都市を「マネジメント」という新たな視点をもって取り組んでいくことが必要

求められる都市計画

・市街化調整区域の規制、都市計画施設の見直し、民間活力を活用した開発など、**従来型の都市計画ツールの高度化**  
 ・都市機能に着目し、これらを都市計画の中に位置づけ、その「魅力」を活かすことによって、居住を含めた都市の活動を「誘導」することで**都市を「マネジメント」する新たな取組（立地適正計画等）**

**質の高い都市計画行政**とは、**従来型の都市計画**に加え、時代のニーズに応じて**求められる都市計画**を実行することで、都市の課題を解決し**目標とする都市像**を実現すること

従来型の都市計画



## 都市計画実務専門家との連携～質の高い都市計画行政の実現のために～

これまで都市計画実務専門家の能力が活用され、質の高い都市計画行政がなされてきたところ。今後、これまで以上に変化する時代のニーズに対応するため、より一層、**専門的な能力を有する都市計画実務専門家と連携**することが必要。

### ○公共団体の状況

- 自身の都市の事情に詳しい
- 行政実務に精通している
- 地元のニーズを政策に反映

### ○質の高い都市計画行政実現のため必要となる能力

- 全国の他市町村で創意工夫された先進事例、他分野の基礎知識などの知見を有する能力（知識）
- 多様なデータ等を活用し都市を分析する能力、適切な合意形成手法を実施する能力（技術力）
- 専門的かつ第三者の立場から、都市の課題を抽出し、対応方針を発想する能力（創造力）

専門的能力を駆使し、各場面で活躍を期待

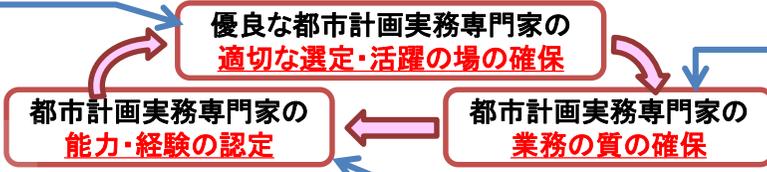
<解説>左記の能力を使う場面（〔H26年度とりまとめ〕担うべき役割との関連）

- 知識・データ分析を活用し、都市の課題、対応方針を示す『ホームドクター』
- 地域住民や、都市機能の担い手との橋渡しを行う『コーディネーター』
- 都市・地域全体を俯瞰して抜本的な政策、戦略を提案する『政策アドバイザー』

## 質の高い都市計画行政を推進するための好循環

都市計画実務専門家との**連携の必要性を地方公共団体に普及**することを起点とし、連携を促進するための取組が必要

- 都市計画実務専門家との連携必要性の普及
- 都市計画実務専門家の能力を引出す発注に関する事例の共有



- 時代のニーズに対応した実践的なガイドラインの作成・充実・周知
- ノウハウ蓄積を企図した実践的な講習会の開催
- 都市計画CPD標準カリキュラムの作成

- 『認定都市プランナー制度』の普及・充実
- 『都市計画コンサルタント優良業務登録事業』の普及・充実

都市計画行政の質の向上

※各取組が循環することにより、継続的な取組となり、取組同士の相乗効果が期待される